

道路事業事後評価

県土づくり本部
交通政策部
道路課

平成21年 3月



事業概要

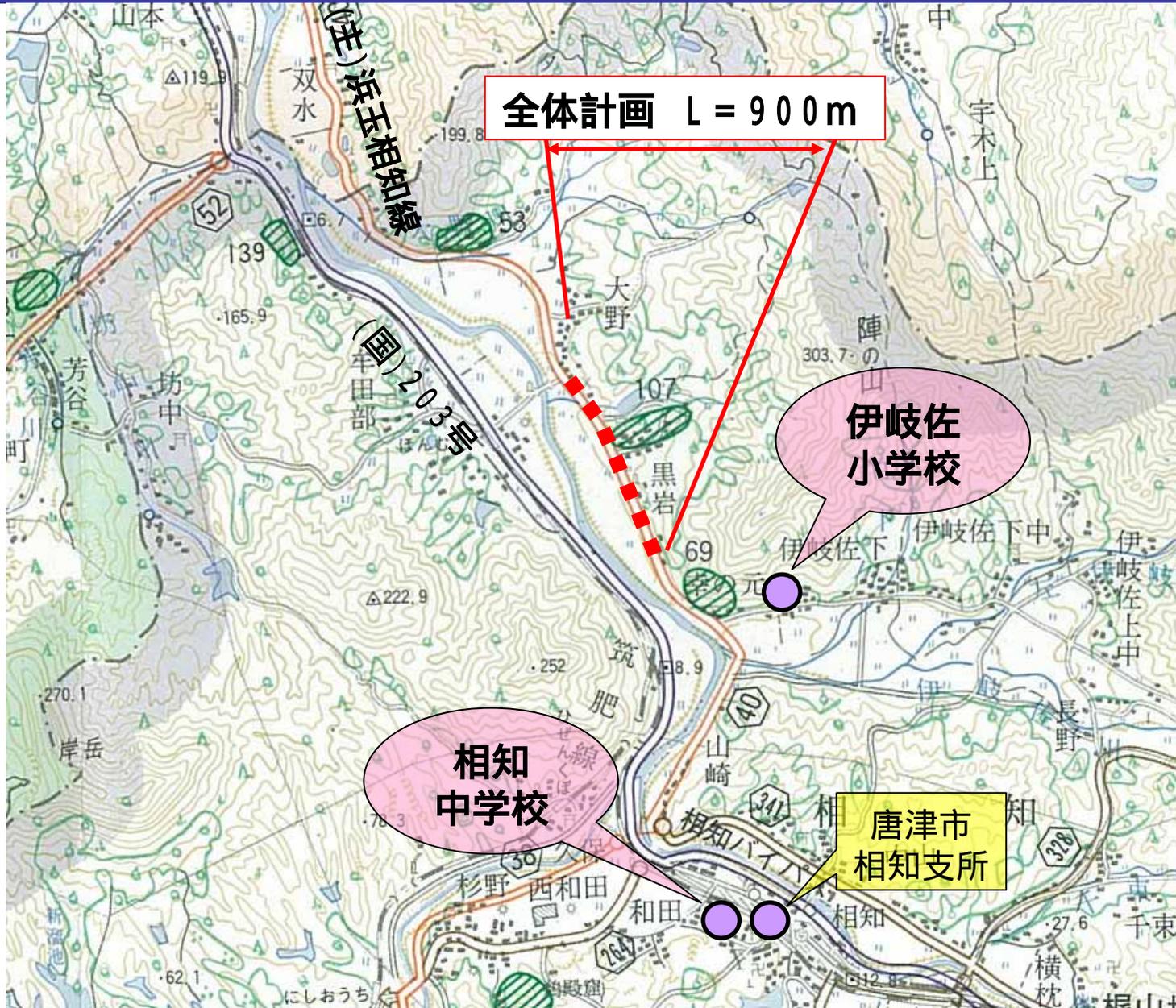
事業名	緊急地方道路整備事業
路線名	主要地方道浜玉相知線
所在地	唐津市相知町黒岩
工期	平成9年度～平成14年度
総事業費	360百万円
事業内容	道路改築(自転車歩行者道整備)

L = 900 m

事業位置



事業位置



背景と目的

- ・ 並行する国道203号の迂回路機能があり交通量が増加
- ・ 歩道の連続性が確保されていないため、路肩部を通学し2度の県道を横断

よって

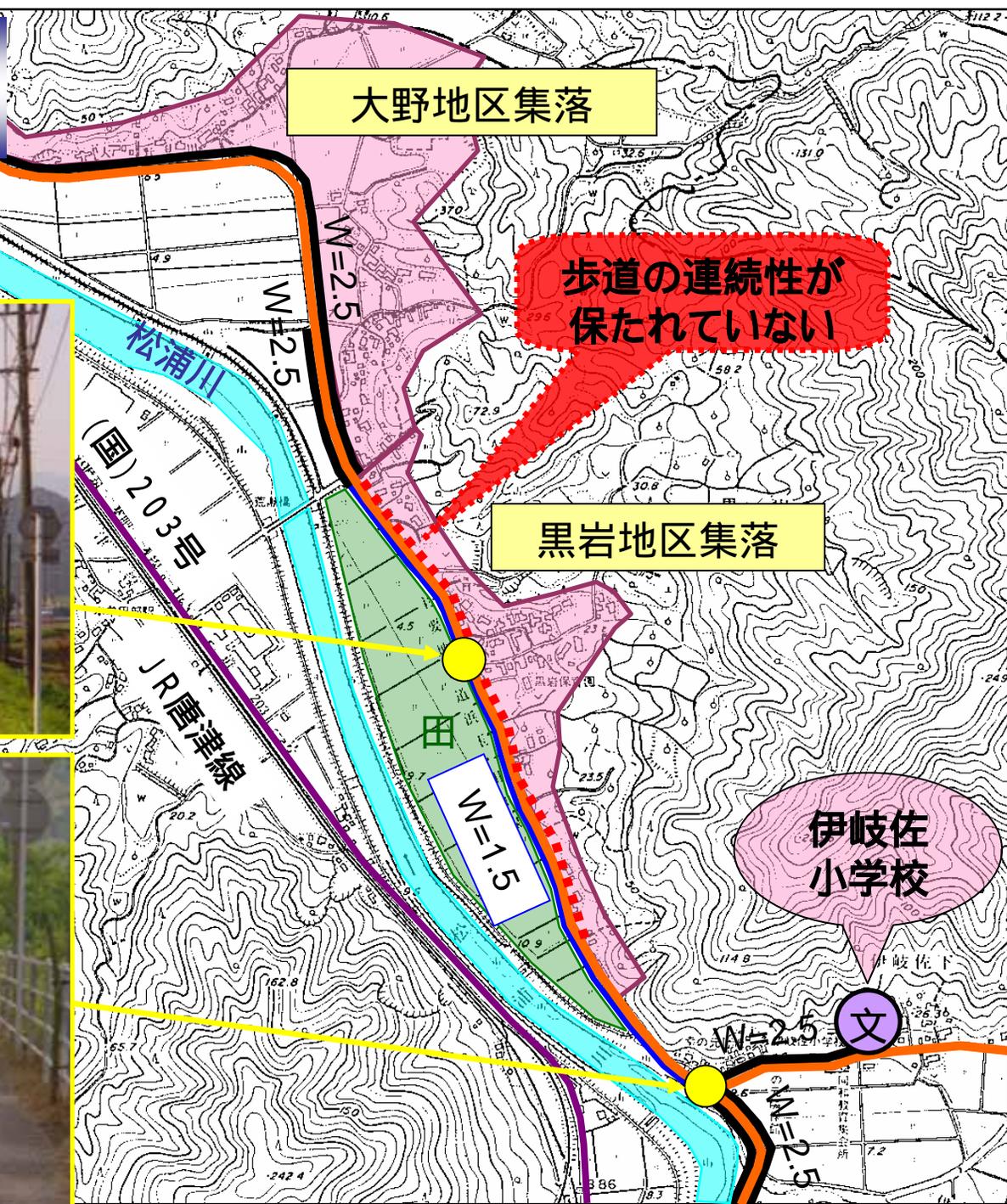
- ・ 通行車両の円滑な走行確保
- ・ 自転車や歩行者の交通安全確保

そのため

- ・ 車道の拡幅
- ・ 連続性が保てる自転車歩行者道の整備

整備前状況

2度の県道横断状況



大野地区集落

歩道の連続性が保たれていない

黒岩地区集落

伊岐佐小学校

文

松浦川

(国)203号

JR豊津線

W#2.5

W#2.5

W#1.5

W#2.5

W#2.5

整備前現状写真

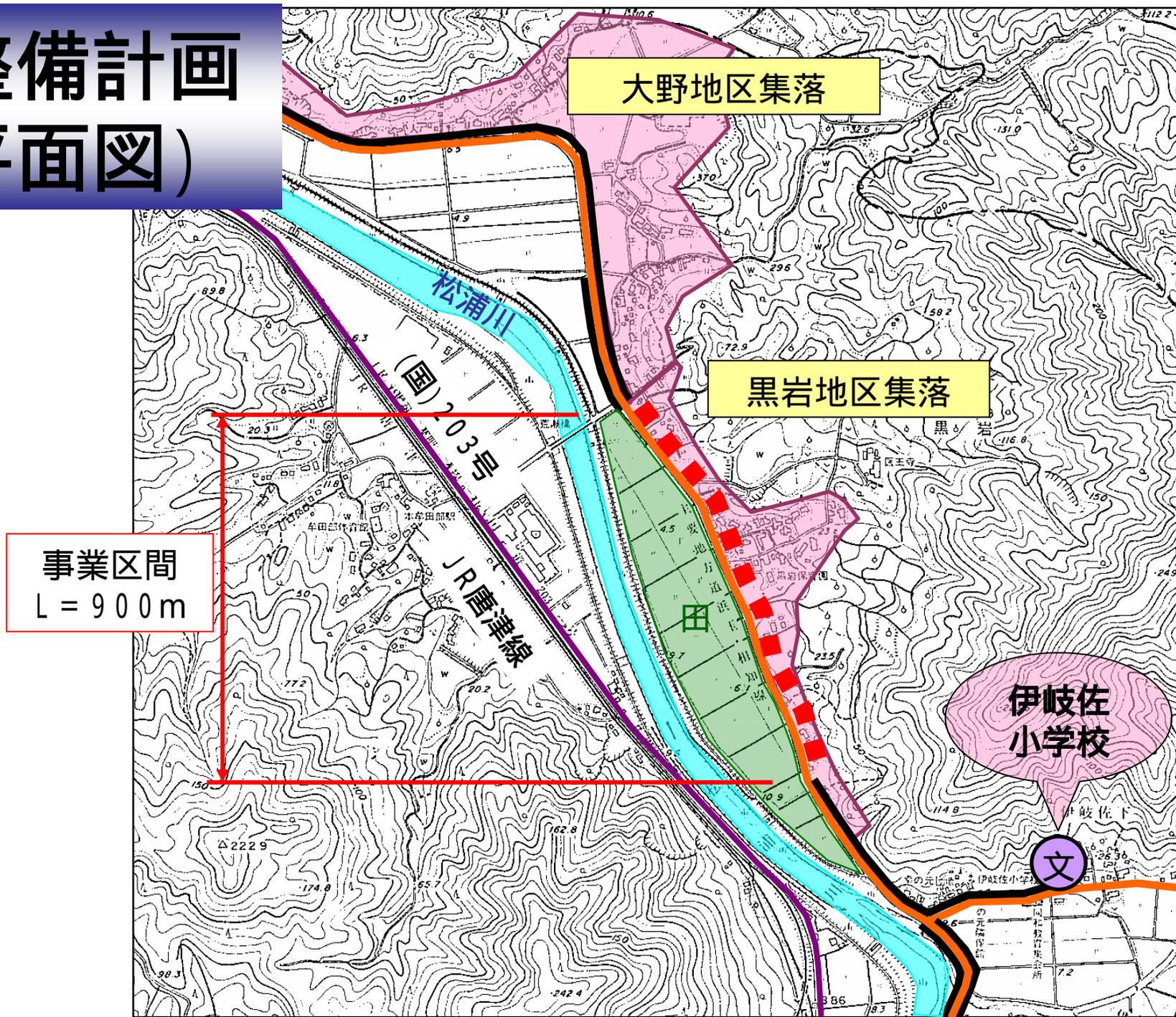
路肩部を通学し危険！



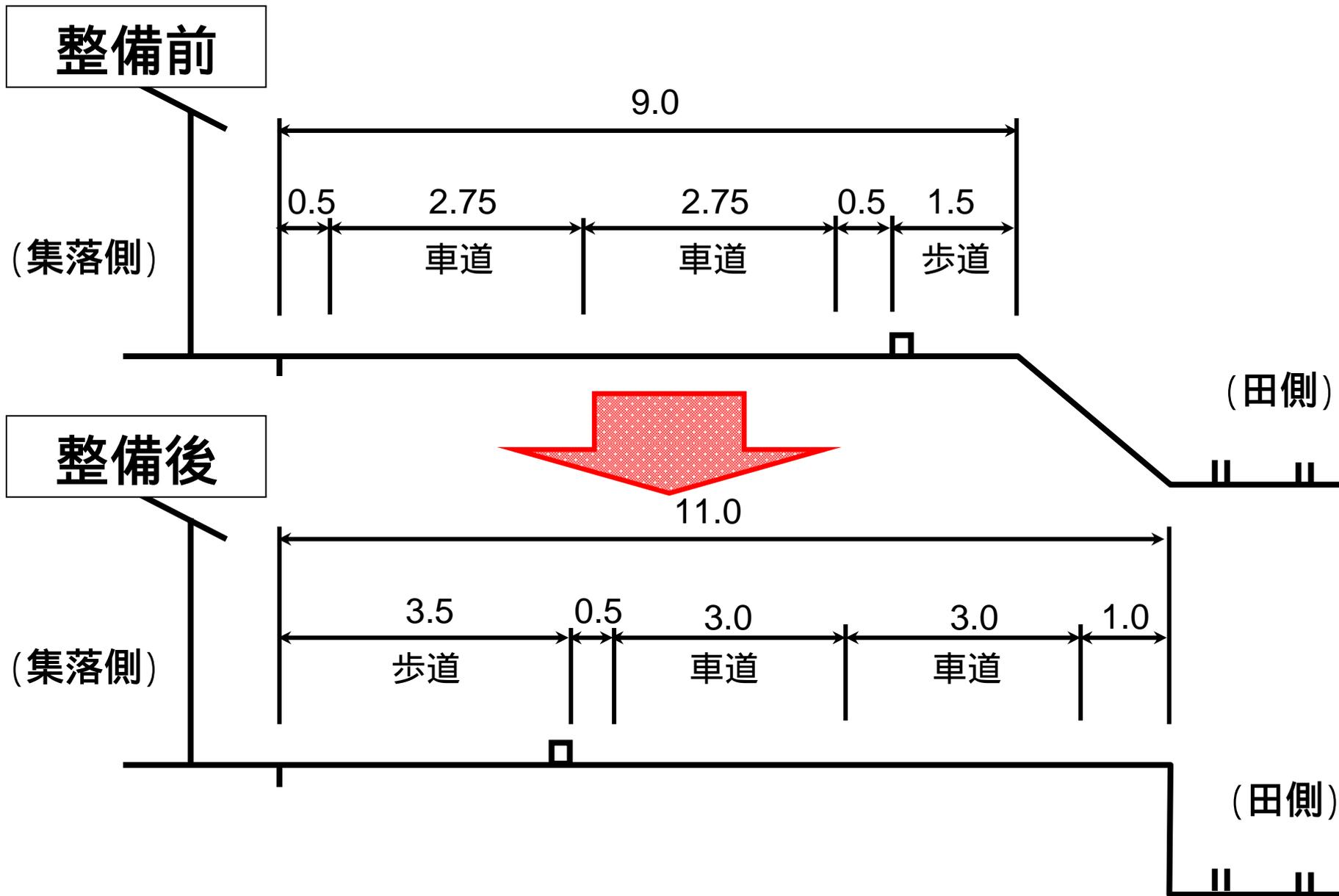
歩行者・自転車・自動車
が錯綜し危険！



整備計画 (平面図)



整備計画 (標準横断面図)



社会経済情勢の変化

交通量の推移

- ・ 日交通量が111%増加

9,130台/日(H11調査)

10,180台/日(H17調査)

- ・ ピーク時間交通量が128%増加

862台/h(H11調査)

1,107台/h(H17調査)

整備状況写真

目標地物

信号機が撤去



整備前



整備後

集落側に歩道の連続性を確保

整備状況写真

大型車も走りやすい



安全に通学

自転車もスイスイ



通行車両の円滑化と
歩行者及び自転車の安全を確保

県民の意見

【メリット】

児童等の歩行者及び中高生の通学自転車が安心して通行できるようになった。

2度の県道横断など、危険に感じていたが、集落側に歩道が整備され、安全になり感謝している。

信号機が無くなり、地元指導員を配置しなくてよくなった。

【デメリット】

スピードを出す車が増え危険を感じる。

整備効果

- ・車道を拡幅したことにより、通行車両の円滑な走行を確保しました。
- ・連続性が保てる自転車歩行者道の整備を行い、自転車や歩行者の安全性を確保しました。



交通事故が減少

8件 (H11 ~ H14)

4件 (H15 ~ H18)

今後課題と改善

一部の道路事業において、用地交渉の難航などにより、事業の長期化や計画を変更するなどの課題がある。

平成18年に

「道路事業における合意形成の進め方」を策定

円滑な事業進捗と、事業効果の早期発現が期待